

一、これからの「望ましい学校の姿」

……少人数なりのよさを生かした、魅力ある学校づくり……

1. 一人ひとりに居場所があり、社会性や自立的な生活態度、主体的に判断する力を育む学校
2. 学習環境を整え、行き届いた指導を行うとともに、子どもたちの教育と学力向上に力を発揮する学校
3. 地域に学び、地域とともに歩み、子どもたちが誇りを持つ学校
4. 学校施設の整備など、より魅力的で快適な教育環境を提供する学校

二、具体的提言の柱（前回までの話し合いの中から、考えられそうなもの）

……白馬村の力を生かした未来志向の教育を……

1. 白馬ならではの特色ある学習
 - ・英語学習の充実
 - *全ての子どもたちが、簡単な日常会話ができる程度の力を。
 - *白馬の地域特性を生かす。英語特区申請の方向も考えられる。
 - ・ICT教育の進展
 - *少人数をカバーする共同的な学び。外部との交流。
 - *地域の人材、産業、施設他の協力を得て先進的な試みを。
 - ・スキー学習
 - *白馬ならではの体験をさせることで、地域の良さを知り誇りに思える。
2. 学校と地域の連携・共同
 - ・コミュニティースクールの推進
 - ・スポーツ・歴史文化・自然、産業や社会生活での学びと誇り
 - ・地域への協力
3. 施設設備の整備・改善／
 - ・老朽化が進んだ施設の改善
 - ・時代の要請に対応した情報機器の導入
 - ・安心安全な学校環境とは
4. その他

※その他に考えられる例

- 幼児教育から高校教育までの一貫した教育の進展
 - ・ 幼児教育と小学校教育の連携
 - ・ 小中一貫教育の整備・推進
 - ・ 義務教育と高校教育の連携

- 必要な人的配置
 - ・ 専科、教科担任制、配慮を要する児童生徒等への対応